

授業科目名	子どもの健康と安全			科目コード	KOIC 0060
学科・コース名	こども未来科			履修区分	必修
授業形態	演習	開講学年	3年次	学期	後期
担当教員	椎屋 美鈴	実務経験	有	単位数	1 単位
授業の目的・目標	子どもの健康保持・増進と安全確保のために必要な基礎知識と実践力を身につける。 1) 子どもの発育発達に応じた健康観察・保健指導のポイントを説明できる。 2) 感染症予防(標準予防策)と、嘔吐物処理等の衛生管理を適切に実施できる。 3) 事故予防(リスクアセスメント)を行い、ヒヤリハットから改善策を立案できる。 4) けが・急変時の対応(応急手当、窒息対応、心肺蘇生・AED、救急要請)を手順に沿って行える。 5) 災害・不審者等の危機管理において、保護者・関係機関と連携した行動計画を作成できる。				
授業の概要	配布資料を用いて講義を行い、ワーク(チェックリスト作成、ケース検討)とロールプレイ／実技(嘔吐物処理、応急手当、窒息対応、心肺蘇生・AED、避難・引き渡し訓練)を通して実践力を養う。				
回	授業計画・内容			授業外学習の内容	授業外学習時間
1	オリエンテーション／子どもの健康・安全を支える基本(保育者の役割、関連法規・指針、事故・感染・災害の全体像)			自分が想定する「園で起こり得るリスク」を3つ書き出す。	120分
2	子どもの発育発達と健康観察(観察ポイント、体調変化の気づき、記録のコツ)			健康観察の観点を整理し、観察記録の記入例を作成する。	120分
3	生活習慣と健康(睡眠・食事・排泄・運動)／アレルギー基礎(注意点、配慮事項)			アレルギー対応に必要な情報(家庭との共有項目)をリスト化する。	120分
4	感染症の基礎(感染経路、標準予防策、手洗い・PPE)ワーク			標準予防策の要点を復習し、手洗い手順の自己点検を行う。	120分
5	感染症対応①:嘔吐下痢・インフル等／登園の目安・隔離・連絡【実技】嘔吐物処理(準備・手順・廃棄)			嘔吐物処理手順を図解でまとめ、家庭での準備物も確認する。	120分
6	感染症対応②:環境整備と物品管理(玩具・リネン・消毒)【ワーク】衛生チェックリスト作成			チェックリストを見直し、改善点を追記する。	120分
7	事故予防の視点(ヒヤリハット、リスクアセスメント、環境構成)【ワーク】危険箇所マッピング			身近な場所(教室・自宅等)で危険箇所を3点発見し、対策案を書く。	120分
8	けがの応急手当①:出血・打撲・捻挫・やけど【実技】止血・固定(包帯／三角巾)			応急手当の要点を復習し、固定手順のポイントをメモする。	120分
9	けがの応急手当②:窒息・誤嚥(気道異物)【ロールプレイ】発見→対応→連絡			窒息時の判断ポイント(咳ができる／できない等)を整理する。	120分
10	急変対応①:心肺蘇生とAED(乳児／小児の違い)【実技】CPR・AED手順			CPRの手順を声に出して確認し、想定場面の通報内容をまとめる。	120分
11	急変対応②:発熱・けいれん・脱水・熱中症／アナフィラキシー【ロールプレイ】観察→対応→救急要請→保護者連絡			急変時の連絡事項(時刻、症状、対応、バイタル等)を記録様式に沿って書く。	120分
12	災害時対応①:地震・火災・水害の基本／避難の原則【演習】避難計画と備蓄の点検			非常持出・備蓄の項目を確認し、優先順位を考える。	120分
13	災害時対応②:引き渡し訓練・安否確認・情報共有【ロールプレイ】引き渡し／連絡網運用			引き渡し時の確認事項(本人確認、記録、注意点)を整理する。	120分
14	不審者・事故発生時の危機管理(門扉管理、通報、情報発信、再発防止)【ワーク】対応フロー作成			対応フローを完成させ、想定問答(保護者への説明)を準備する。	120分
15	総合演習:ケーススタディ(事故／感染／災害)【技能評価】チェックリストに基づく実技・ロールプレイ／振り返り			振り返りレポート作成(学び・課題・現場での活用)。	120分
評価方法	出席・受講態度(主体的参加) 20% ワーク課題(チェックリスト／フロー等の提出) 30% 実技・ロールプレイ技能評価(手順・安全配慮・連携) 30% 振り返りレポート 20%				
教科書参考書	配布資料を使用 参考:保育所保育指針／日本赤十字社等の救急法・一次救命処置ガイドライン(授業内で必要部分を配布)				